

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	生活環境部市民生活課	直通電話	72-3191	事業コード	601020102	課内	9	作成日		
	担当者		新岡 研一郎		担当課長		伊藤清		担当部長	吉田保雄

1 事業のアウトライン

1) 事業名	集会所管理運営委託事業	開始年度	S55	終了年度	未定								
			最近の事業内容見直し年度 H13										
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">施策コード</th> <th style="width: 90%;">大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>6010201</td> <td>市民参加システムの確立 / コミュニティ活動の推進</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	6010201	市民参加システムの確立 / コミュニティ活動の推進				
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目												
6010201	市民参加システムの確立 / コミュニティ活動の推進												
3) 個別計画での位置付け													

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	地域住民の自治活動の拠点としての集会所を、地域住民自らが運営し自治活動の推進を図る。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	地域住民が自らの手で管理運営を行なうことにより、地域に根ざした自治活動の拠点とする。 使用料として収入を得て、自主的な経営管理を行なうことにより、地域住民が主体となった自治活動を醸成していく。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	平成13年度から、下記 ~ のとおり委託料の算定方法を見直して実施している。 会館運営経費のうち、1. 光熱水費(実績の50%)、2. 管理人件費(管理人費、清掃費、除雪費)、3. 電話料(基本料金)からなる基本額とする。 基本額が使用料収入より大きい場合、基本額を委託料として支払う。 使用料収入が基本額を超えた場合は、基本額からその差額を差し引いた金額を委託料とする。 使用料は市集会所条例第5条及び施行規則第4条により、1室1時間につき1,200円を超えない範囲で、受託者である集会所運営委員会が定める。
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	なし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	類似事業に、街路灯組合補助事業がある。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	事業立案についての参加はないが、委託料の算出根拠の改正の都度、各会館運営委員委員長会議に図る。
7) 評価中間公表への市民意見	なし

3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14 事業費の主な内訳	金額(千円)	
1) 直接事業費(千円)	12,853	12,354	12,900	13,533	委託料	12,900	
2) その他の間接経費(千円)		184	376				
3) 従事正職員の人件費(千円)	1,644	1,658	1,647				
総事業費(1~3の合計;千円)	14,497	14,196	14,923			H14 主な特定財源の内訳	金額(千円)
総事業費中の一般財源(千円)	14,497	14,196	14,923				
市民一人当たり一般財源使用額(円)	262	256	267				
事務に従事した正職員のべ人数	0.20人	0.20人	0.20人				

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	
年間利用件数(件)	目標値	7,100	7,200	7,400	7,900	目標値、前年度実績により設定した。
	実績値	7,144	7,385	7,871		
	達成率	100.6%	102.6%	106.4%		
集会所数(箇所)	目標値	20	22	24	25	目標値は、石狩市新総合計画の後期実施計画による。
	実績値	20	22	24		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
	目標値					
	実績値					
	達成率					

5 事業の成果

事業名：集会所管理運営委託事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
使用料収入額(千円)	目標値	14,188	13,829	13,825	13,825	目標値は、光熱水費(実績の50%)、管理人員費(管理人員費、清掃費、除雪費)、電話料(基本料金)からなる基本額を利用した。	実績報告書
	実績値	9,112	9,821	10,222	目標レベル		
	達成率	64.2%	71.0%	73.9%			
	最終目標	年度に					
延べ利用人員(人)	目標値		未設定	131,000	145,000	目標値は前年度実績により設定。平成13年度より集計開始。	実績報告書
	実績値		131,070	145,276	目標レベル		
	達成率			110.9%			
	最終目標	年度に					
1集会所あたりの述べ利用人員(人)	目標値		未設定	6,000	6,000	目標値は前年度実績により設定。平成13年度より集計開始。	実績報告書
	実績値		5,957	6,053	目標レベル		
	達成率			100.9%			
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	集会所の利用件数は増加傾向にあり、活動が活性化したと判断できる。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	集会所が増えているにもかかわらず、1集会所あたりの利用者数も増加傾向にあり、地域住民が自分たちの会館と言う意識で、地域の活動の活性化に寄与している。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	市民の自治活動を助長していくための事業であり、町内会と深く連携していることから、一定の妥当性がある。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	集会所は自治活動の場であることから、今後とも事業には一定の妥当性がある。この事業については3年に1回委託料の見直しをする。				

7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	B (前年度)
	集会所は、子どもからお年寄りにいたる住民各層の交流の場、地域文化をはぐくむ場、地域活動の拠点として十分機能しており、コミュニティ活動の活性化に貢献している。		運営委員会は、集会所を運営するとの考えに基づき、独自行事の開催、利用者の利便性向上に努めて、利用者増に努力された。	

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	今後とも地域の活動の場としての集会所の必要性が問われるが、管理のあり方も検討の必要がある。
最終評価	地域での使い方の利便性がより図られるよう、運営管理についても、新たなきまりが必要である。

9 平成16年度の方向性

* 担当課長 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
休・廃止			
上についての説明			